



社明運動のシンボルマーク

保護司会報

# 吹田

発行

吹田地区保護司会

吹田市泉町1丁目3番40号  
吹田市役所福祉総務室  
電話 6384-1363(直通)



▲吹田市総合防災センター (DRC Suita)

# 迎春



## 新年のご挨拶

吹田地区保護司会 会長 吉川 英次

新年明けましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は更生保護活動に御尽力いただき心より敬意を表しますとともに感謝お礼申し上げます。昨年は更生保護制度ができ75周年の節目の年であるとともに大谷選手の所属する大リーグのロサンゼルスドジャースがワールドシリーズで優勝するなど大いに盛り上がり、日本人に元気を与えてくれた年でした。一方、世界では気候変動による大洪水など災害の多発や、またウクライナや中東での戦禍はいまだ収束の気配はなく、混沌とした世界情勢が続いており、大変残念な状況となっています。国内ではSNSなどで実行役を集め、特殊詐欺や強盗・強盗殺人などの犯罪を行う、いわゆるトクリュウと呼ばれる「匿名・流動型犯罪グループ」による凶悪事件が増加しており、市民生活に大きな不安を与えています。こうした犯罪により、大阪府では20年間減少傾向にあった刑法犯が令和4年・5年そして今年度も上半期において増加傾向にあります。また、昨年の6月には大津市で保護司が対象者に殺害されたとの疑いで容疑者が逮捕されるという我々更生保護関係者にとっては大変ショッキングな出来事がありました。また、保護司活動においても社会情勢が急速に変化する中、保護司の高齢化や適任者の確保が難しくなるなど課題が山積みし、こうした課題について検討するため国において一昨年5月に保護司、有識者によ

る「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」が設けられました。そして昨年10月には現行制度の課題事項に対する検討結果と今後講じていく施策等について、報告書が法務大臣へ提出されました。今後この報告書をもとに関係法令等の見直しがされ、より実態に即した保護司活動を支える環境が生まれるのではないかと大いに期待しているところです。いずれにしましても「犯罪のない誰もが安心して生活できる明るい社会の構築」に向け保護司のみなさまの役割がこれまでもまして重要になってくるものと考えております。そのため皆様が安心して活動していただけるよう面談場所について公共施設等使わせていただけるよう行政をお願いしています。保護司活動は時に困難なことに遭遇し、辛いおもいをする時があるかもしれませんが、しかし対象者とともに喜びを共有できる時、なにものにも代えがたいものがあります。当会も会員相互が楽しみ、交流できる機会を積極的に設けてまいりたいと考えます。今年は大阪・関西万博という大きなイベントが地元で開催される年でもあり、いっそうの犯罪防止啓発活動にも取り組むことができると考えております。

結びに、吹田市はもとより保護観察所、更生保護女性会など関係機関とより連携を密にし、活動してまいりたいと考えております。今年も皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

吹田市長 後藤 圭二

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

吹田地区保護司会の皆様方におかれましては、日頃から犯罪予防活動や更生保護活動を通じた青少年の心身の健全育成などにより、本市の安心・安全のまちづくりに多大なご貢献を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、「第二次再犯防止推進計画」では、再犯の防止等に関する取組について、分かりやすく効果的な広報等により、広く国民の関心と理解が得られるものとしていくことが基本方針の一つとして掲げられています。本市では、昨年、「第74回社会を明るくする運動市民集会」において、更生保護をテーマとしたシンポジウムが開催されました。

今後も、このような取組を通じて犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生について、より多くの市民の方々の理解が深まっていくことを期待しています。

引き続き、保護司の皆様方をはじめ、更生保護に関わる全ての方々と連携を深め、誰もが安心して暮らせる、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向けた取組を進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、吹田地区保護司会の皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

大阪保護観察所長 山田 浩司

新年あけましておめでとうございます。

吹田地区保護司会の皆様におかれましては、犯罪や非行からの立ち直りに向けた指導・助言、犯罪や非行の防止等に関する活動にご尽力をいただき、あらためて深く感謝申し上げます。

また、関係機関団体そして地域の皆様には、平素から、保護司及び更生保護の活動に深いご理解とご協力をいただいておりますことに対し、重ねてお礼を申し上げます。

再犯の防止が継続した課題となるなか、国の「再犯防止推進計画」により、就労や住居の確保をはじめとした各重点課題に対して、様々な取組が実施され、多くの成果に結びついているところですが、離職の防止や離職後の再就職支援の充実、更生保護施設退所後の定住先の確保、幅広い層からの保護司適任者の確保など、新たな課題に対応するため、令和5年4月から、第2次再犯防止推進計画による新たな取組が始まっています。

また、令和5年12月には、更生保護法等の一部

改正が施行され、「犯罪や非行からの立ち直りを支える息の長い支援」、「地域社会に貢献する更生保護」、「犯罪被害者の思いに応える更生保護」などを柱とした、社会内処遇の一層の充実等を図るための諸措置等に関する整備がなされました。

いわゆるコロナ禍を経て、社会情勢も変化するなか、再犯を防止し、安全で安心な地域社会を確実なものとするためには、国、地方公共団体、保護司の皆様、そして地域にお住まいの一人ひとりが、相互に支援し連携する体制を強化し、生きづらさを抱える人や再出発を図ろうとする人たちを、見守り受け入れていく社会を確実なものとするのが重要です。

保護観察所も引き続き、さらに多くの方々から再犯防止に関するご理解をいただくほか、様々なネットワークを基に、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりに向けて取り組んでまいります。

皆様方の変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。



## 保護司の皆様へ感謝

吹田警察署長 川畑 慶和

新年、明けましておめでとうございます。

吹田地区保護司会の皆様には、滅私の精神で、罪を犯した人たちの立ち直りにご尽力賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、「保護司」という存在が、社会に大きく周知され、保護司制度そのものに新しい風が吹き始める1年となりました。

面接をドタキャンされ、裏切られ、逆恨みされ、それでも立ち直りを信じて面倒を見る、きれいな仕事では済まされない仕事内容。

地域の篤志家頼みによる担い手不足や高齢化、民間ボランティアの善意頼みの「やりがい搾取」の制度批判。

そして、今コスパ・タイパを求めてSNSを駆使

し、安易に闇バイトから強盗に転落していく若者たち。

加えて、薬物、特殊詐欺やサイバー犯罪等、犯罪形態や要因が多様化し、保護司により求められる専門性。

それでも無給にこだわり、ひたむきな活動を生き甲斐とする現役保護司の皆様方。

「仕事にしたらうまいかん。あの子らは心の底を見るから」との元保護司の言葉に、明治期の篤志家が始めた保護司制度の精神の深い根付きを実感した次第です。

コロナ禍も残暑も遠い記憶となり、短い秋を経て、寒さにありがたみを感じる今日この頃ですが、犯罪に無縁な吹田市を見据え、本年も皆様と一体となって、全力で取り組んで参ります。



## 生きづらさのない社会をめざし

吹田地区更生保護女性会 会長 住吉 比和子

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

乙巳の新春を吹田地区保護司会の皆様におかれましては、ご家族さまとお揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、当会の活動に温かなご支援と多大なご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

吹田地区更生保護女性会は、今年、結成60周年を迎えます。昭和39年3月29日、吹田地区更生保護婦人会が発足しました。それから時が悠々と流れ先人の次いで来られた活動の理念を引き継ぎ、会員の皆さまと心をつなげて子育て支援、児童生徒への見守り活動、浪速少年院や愛正会への支援訪問など、バザー収益金全額を更生保護施設、矯正施設などにご寄附を続けております。

また、青色パトカーに乗車し地域の安心安全な街づくり、青少年の非行防止に繋がる活動も実施

しております。その時々には色々な人達と出会いがあり、活動の輪を広め深められ充実した内容を積み上げられて来ています。新しい事を考える事も今後の中で大切にしたいですが、今までの取り組みの繰り返しの活動こそが地域に根差した更生保護活動の発展につながっていると感じます。

今後においても青少年の健やかな成長を願いつつ、奉仕の精神と一人も取り残さない、あたたかな人間愛を持って、罪を犯した人の支えとなり「生きづらさ」のない社会の構築に向けた活動の一翼を担って参りたいと考えております。これからも保護司会、関係団体の皆様と温かな結びつきを大切にし、力を尽くす所存でございますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに吹田地区保護司会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

吹田BBS会 会長 由上 大祐

保護司会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、私たちBBS会の活動に多大なるご指導とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。保護司の皆様が日々献身的に更生支援に取り組んでおられる姿勢に、深い敬意を抱くとともに、そのお力添えがあつてこそ、私たちBBS会も地域社会に貢献できていることを改めて感じております。

現在、非行を含む若年層の問題や社会的な孤立が一層深刻化している中、更生支援の重要性がますます高まっております。私たち自身も、この課

題に真摯に向き合い、対象者一人ひとりの立ち直りを支えられるよう、取り組んでまいりたい所存です。

本年も私たちBBS会は、保護司会の皆様と連携しながら、対象者の未来への希望を紡ぐ活動を進めてまいります。何かと至らぬ点もあるかと存じますが、引き続きご指導・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとって本年が健康で充実した一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 各部だより

### 総務部

総務部は、各部の業務を円滑に進め、緊密に連携できるように支援するなど会全体の運営を受け持っています。会の予算案、事業計画案の作成や理事会、例会、総会での司会進行等を行う部署です。

今年度は、コロナ禍も落ち着き予定通りで会合等が行われるようになりました。

理事会は、令和6年4月・8月・9月・11月・12月に行いました。例会・研修会は、令和6年4月・5月（総会）・8月・9月・11月・12月に行いました。

今後は、より一層参加しやすく親交を深める会合を目指してまいります。

理事会、例会、研修会として、令和7年1月（新

### 研修部

研修部は、会員の資質向上を図る研修がスムーズに行えるよう、例年4回の統一研修の運営、年3回の自主研修や春・秋の管外研修の企画・運営を担当しています。そのため年間3～4回の研修部会を開き、自主研修と管外研修の内容を検討しています。

自主研修では、会員の様々な悩みや関心に沿うようなテーマを考え、令和6年度は「対象者との面接」「引きこもり」をテーマとし、講演を専門性の高い講師に依頼して実施しました。2月には「性犯罪」のテーマで研修を予定しています。

管外研修は、春は「兵庫県立明石学園」、秋は更生保護法人「和衷会」を訪問し、現地に行ってこ

部長 木田 昌宏

年会)・2月・3月に開催する予定です。また、令和6年度決算、令和7年度予算に向けて、令和7年1月以降に実施予定です。

更なる更生保護活動の推進に向け、事務局と連携しながら尽力して参りますので、より一層の皆様のご協力をお願い申し上げます。



部長 奥田 照久

そわかる取り組みや環境等を見聞することができました。

今後とも対象者に寄り添い、更生の支援ができる保護観察活動を推進するため、研修内容の充実に努めてまいります。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



## 広報部

保護司会報の47号発刊という作業をする中で、「47号」という重みをつくづく考えることとなりました。

更生保護に関わる1年間の変化などをまとめておくことは、先達の方々から今活動している皆様の活動記録をのちのちまで残せることとなります。1年間という日々から生まれる事柄を、十数ページにしたためて見ると、こんな事やあんな事があったのだと振り返ることが出来ます。手に取られた方々には、吹田地区保護司会は、こんな事をしているのだ。そんな思いや気づきが、伝わってほしいと願いながら作成しています。

来る「50号」には、「50周年記念号」と銘打てるような会報が作れないだろうかと夢を持つこととなります。繋がれば一つの歴史書となるような

部長 津田 郁夫

会報を大切にしていきたいと思っています。そしてこれからも、しっかりとした節目となれるような紙面作りに励みたいと思います。皆様方におかれましては、今年も、これからも情報の提供をお願いする次第であります。よろしくお願いいたします。



## 組織部

「組織部は何をすところ？」

初回の顔あわせで、「組織部は何をすところ？」と話を始めました。「本当は何をすところか、よくわからない」これが第一印象でした。でも話が進む中で、「BBSとの交流にでかけた」、「更生保護女性会のバザーのお手伝いをやった」、「新人の保護司さんを囲んで、自分たちの経験を話した」、「雇用主会に参加した」等々、更に「例会への参加を促すのも組織部の仕事では」と、コロナで途絶えていた先輩方の活動が明らかになってきました。「何をすところかわからない」のではなく「何をしているか全体に知られていない」ことでした。今年は「ブロック長会議」を組織部の担当として始めて開催しました。「サポートセンターの運営」、

部長 関 良一

「ブロック間の情報交換」をテーマに多くの意見の交流が出来ました。出た課題は運営員会に報告しました。組織部の今後主催する活動にご協力よろしくお願いいたします。



## 執行部紹介

役員改選により、令和6年4月1日から新しい執行部がスタートしました。

任期は令和8年3月31日までです。

2年間どうぞよろしくお願いいたします。



顧問	福永 哲哉	会計	本田 智教
会長	吉川 英次		山中 房江
副会長	古川 真一	監事	吉田 照子
	廣瀬 惠美子		西形 方良
	田淵 真人		
	田原 元宏		
総務部	部長 木田 昌宏		
	副部長 木村 公一		
研修部	部長 奥田 照久		
	副部長 佐藤 朋子		
広報部	部長 津田 郁夫		
	副部長 住吉 比和子		
組織部	部長 関 良一		
	副部長 乾 実千穂		

## 浮き輪



大阪保護観察所 保護観察官 坂本 凌

令和6年4月から吹田保護区を担当させていただいております大阪保護観察所の坂本と申します。保護司の皆様におかれましては、平素より更生保護活動にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。また、地域の関係機関の方々には、それぞれのお立場から、更生保護活動にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、更生保護活動は、多岐にわたりますが、現在の私は処遇部門という主に保護観察、生活環境の調整を担う部署に在籍しており、保護司の皆様や地域の関係機関の方々と連携しながら、業務に努めております。

業務に当たって、私のモットーが一つあり、それは「浮き輪になること」です。

「エンパワメント」という言葉がございます。この言葉の解釈は様々ですが、私は、「本来人が持っている力を、発揮していくための、人と人との関わりのこと」であると理解しています。保護観察や生活環境の調整において、保護観察対象者やその関係者は、居場所、人間関係、嗜癖等の様々な問題や悩みを抱えている方も多く、時に我々は、複雑な状況に対し、どのように、どこまで踏み込み、関わるべきなのか、立ち位置を見失いそうになることがあります。もし、つい踏み込み過ぎて、相手の依存を生んだ場合や、本来、相手自身が解決

すべき問題をこちらが解決してしまった場合は、かえって相手の成長を妨げる結果になると、私は考えています。反対に、巻き込まれることを過度に恐れて、見放したり、関わりを避けたりすることも望ましくありません。

私は、人には、自分の問題を自分で解決できる力（自助の力）があると信じています。そのような力を発揮できるよう、動機付けし、引き出し、導くことが更生保護の役割ではないかと思っております。つまり、面接等の機会を通じて、「エンパワメント」していくことが大事という考え方で。今は泳ぎ方が分からなくても、浮き輪があれば自分自身で泳げますよね。私は、相手がいつか浮き輪なしで泳げるようになるまでの間の、浮き輪になることをイメージしています。この考え方は、相手の可能性や本来持つ力を信じることに他なりませんので、決して押しつけがましくならず、最も相手を尊重したものであると思っております。

私はまだまだ勉強中の身です。日々、保護観察対象者やその関係者、あるいは保護司の皆様や地域の関係機関の方々から教わることは多いです。モットーを大事にしつつ、より一層努めて参る所存ですので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 退任保護司

### 「寄り添う」と「気付き」



両親の介護の後、保護司活動という未知の領域に入り12年が過ぎました。研修会・諸先輩方のご指導や助言をいただきながら、対象者とのように向き合えばいいのか？と試行錯誤の日々でした。そのような中、両親の介護時に出会った「寄り添う」という言葉を思い出し、「寄り添う」を大切にしたい保護司活動を意識するようになりました。

担当した対象者はほとんど青少年でした。面接の初回時、対象者本人とご両親に「報告・連絡・相談」は必ず行うように約束してもらい、それが

退任保護司 山川光恵

何時でもできるようにLINEの交換をしました。担当した対象者たちは話をするのが好きな少年が多く、できるだけたくさん話してもらい、私は少年たちの話を否定せずじっくり聞き、対話することに重点をおきました。話しているうちに少年たちは自分の過去・現状・行動を整理することができ、その原因となる行動や選択が何だったのか？など、何らかの「気付き」がありました。また、話を聞く私にもたくさんの貴重な「気付き」がありました。

今後何事に関しても「寄り添う」ことを大切に過ごしていきたいと思います。

## 特例再任保護司

### 「心が変われば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わる ・・・ 運命が変われば人生が変わる」

特例再任保護司 福永哲哉

保護司に任命されて23年間活動することが出来ました。これまで支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

振り返れば素晴らしい先輩方や仲間との出会いがあり、長年の保護司活動を続けることが出来ました。

そして保護観察対象者との面接を通して、貴重な経験の数々、一人ひとりと真摯に向き合う中で、

私の世界は大きく広がりました。この経験は私にとってかけがえのない財産となっています。

昨年1月に保護司の定年を迎え、保護司会員の定数の現状を鑑み、少しでも力になれるのであればと、再任として引き続き活動することになりました。1期2年の短い期間ですが、これまでの経験を生かし、保護観察対象者の方々への支援に尽力してまいりたいと思います。

### 「特例再任保護司の年になって」

特例再任保護司 小寺博之

父が保護司をしていた関係で平成22年1月25日付保護司任命以来、14年間色々な対象者との出会いがありました。妻の手助け、保護司会の例会、研修会を参考に対象者と向き合ってきました。私は常に対象者には遵守事項はもちろん特別遵守事項を守る事を基本に接してきました。面接後にはかならず次回の面接日、時間の約束をし、守らない対象者もいましたが大きなトラブルもなく過ご

してきました。75才で卒業と思っていましたが、会長より継続してもらえないかと申し出があり、吹田地区の保護司会の会員数も減ってきたこともあり引き受けることにしました。事務局より78才の誕生日以降はサポートセンターの企画運営委員の解除の連絡があり、これが特例再任保護司であることを知りました。更生活動に携われたことに感謝申し上げます。

### 「保護司の役割を頂いて」

特例再任保護司 松本博雄

初めは対象者に対してどう接していいかわからず、言い聞かせなあかん、言わなあかんと思っていました。発信が第一だと思っていました。その時は関係が何かギクシャクしていました。対象者は身構え、無断休みもありました。何とかせなあかんと思い、自分自身の心の内を見続けました。すると、対象者に対して同じ目線ではなく、上からの目線で、優位に相対している自分が見えてきました。これではダメだと思い、発信から受信に心を定めました。よく聞くこと、ただ聞くことから相手の背景や痛みを感じつつ、相手の心に尋ねるように訊くことを実践しましたら、様々に話し

をしてくれ、こちらが言わなくても、相手の方から言ってくれるようになり、無断休みもなくなりました。言う以上に訊くことの大切さを感じ、自分自身が変わった分だけ対象者が変わることを実感しました。

また、対象者の育った環境、両親から受けた思いを訊く度に、私の子育てを振り返り反省することが多くありました。対象者との面談は教えられることも多く、一方通行ではなく双方向だと思い、仕事の面や自治会でのやりとりに生きています。

最後にこの役割を与えて頂いて本当にありがとうございました。感謝で一杯です。

## 新任保護司

### おはようございます！～あいさつからはじまる～

新任保護司 伊藤 裕之

保護司の皆さんおはようございます。

私、新任保護司の伊藤と申します。昭和の時代、あいさつを実践する啓発活動として「オアシス運動」というものが推奨されていたのをご存知でしょうか。私が小学生の頃でした。

お家で、ご近所で、学校でごあいさつを交わすことで、より良い人間関係の構築を図るものだと信じ、今も実践しているところであります。この、あいさつこそ地域を知り、人を知り、

お互いを知ることができるのではと思います、これからの保護司活動に、この「オアシス運動」を実践し、犯罪や非行のない、安心・安全な社会の実現に邁進していきたいと思っております。先輩の皆さんから、研修会やサポートセンター勤務などを通じて、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

## 令和6年度受賞者

### 法務大臣表彰を受賞して



吹田地区保護司会 総務部長 木田 昌宏

このたび、令和6年度法務大臣表彰を受賞させていただき、大変光栄に存じます。

保護司を平成16年5月25日に委嘱されて以来、約20年が経過しました。

保護司をさせていただいたきっかけは、遠縁の方が自宅に来られ、吹田青年会議所の理事長をしたのだったら是非とも保護司になるように勧められました。

当時、保護司とは何かも知らずに「はい」と返事をしてしまいました。

以後、研修を受けさせていただきながら見よう見まねで対象者と接しているうちに、少しは世の中のためになっているのかな？と思うようになり常に前向きに進んでおります。これを機に今後もなお一層、更生保護活動に取り組んでまいりますのでよろしくお願ひします。

### 法務大臣表彰を受賞して



吹田地区保護司会 会計 本田 智教

この度、法務大臣表彰を受賞させていただきました。これも偏に保護観察官、保護司会員の皆様方のご指導とお支えの賜物とお礼申し上げます。私共が保護司の任をお受け致しましたのは、幼少の頃よりいつも父（保護司）が地域の為、人の為になるように・・・と言っていた事を思い出したからであります。

これからもより一層地域社会の為に、お役に立てるよう精進してまいります。どうかよろしくお願ひいたします。

## 人事往来

(敬称略、順不同)

### 新任保護司

令和6年1月25日付



伊藤 裕之

### 退任保護司

小南 京子

(令和6年1月24日付)

山川 光恵

(令和6年1月24日付)

越名 隆志

(令和6年9月24日付)

## 訃報

心からお悔やみ申し上げます。

中島 敏昭 様

# 主要事業の報告



犯罪や非行のない明るい社会を目指し、非行防止や更生保護について地域の人々の理解を得るため、吹田市では43の団体・機関で吹田市実施委員会を結成し、様々な活動を実施しました。

## 標語パネルの協賛募集

保護司や地域の皆様に標語パネルの掲示に協賛いただき、公民館や市民ホールなど、市内各所に掲示をいたしました。



## 市民集会

令和6年7月6日(土) 午後1時30分から吹田市文化会館(メイシアター)で開催

### 【シンポジウム】

コーディネーター：浅越 ゴエ 氏 (ザ・プラン9)  
 パネリスト：吹田市長、大阪保護観察所、保護司  
 テーマ：「『更生保護』ってなんだろう？」

吹田地区保護司会からは廣瀬副会長と和泉名誉保護司に登壇していただき、『更生保護』をテーマにシンポジウムを開催しました。



### 【演奏会】

出演：吹田市立片山中学校 吹奏楽部  
 「フロンティア・スピリット」、「タイタニック」など壮大な曲を、力いっぱい演奏していただきました。  
 演奏終了後には、会場全体から盛大な拍手が送られました。



## 地域集会

7月の強化月間を中心に、地域の特性や実情に沿って地域集会が開催されました。

今年度は、28地区で延べ1,161人もの方が参加され、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生についての理解を深められました。



## 管外研修会

## 春季研修 6月5日(水) 兵庫県立明石学園

春季研修会は家庭・学校など地域社会でうまく適応できず、不良行為や問題行動、対人関係の難しさなどを抱えた子ども達を受け入れる児童自立支援施設 明石学園に行きました。

明石学園で生活することになった子ども達の中には、安心して人と信頼できる関係を築くことが困難だった子ども達があります。その関係作りの困難さが、多くの場合に子ども達の問題行動や不適応を起こす根本的な原因になっていると思います。この根本的な原因に直接はたらきかけるために、『小舎夫婦制』という方法を使って夫婦と、子ども達がこれから自立したときに、家族として気を使い周りの人を大切にしながら自分の力で幸せに生きていけるようになるための土台作りを支援しているそうです。

3つの建物に、夫婦の職員と5名前後の子ども達が生活していました。中央のリビングルームをはさんで、左側が子ども達が生活するスペース、右側が職員夫婦とその家族が生活するスペースです。

子どもの自立を支援する職員は夫婦で学園の中に住み込み、子ども達と同じ屋根の下で、ひとつの家族のような関係を作り、お互いに支え合いながら一緒に生活していました。私たちは職員の方と話しながらこれは究極の愛のある生活だと感じました。

職員の方は夫婦二人で休暇を取るとはほとんどなく、自分の子供と家族で旅行することもできないそうです。

しようと思えばできるとは仰っていましたがしたことはないそうです。子どもたちがいつか自分で生活できるような基盤を作ることは大変なことです。

今の自分の生活がいかに幸せかを実感し、この方たちの支えがこの学園を動かしていると強く感じました。



## 秋季研修 10月15日(火) 更生保護法人和衷会

秋季研修会は大阪の中心にある和衷(わちゅう)会に行きました。

和衷会は刑務所から出て行き場のない人を受け入れ、社会復帰を支援する国内最大の更生保護施設で、大阪市北区にあります。大正時代に現在地に施設が完成してから今年で100年を迎え、戦争での空襲も乗り越えてきたそうですが、近年は景気低迷で民間の寄付が減少し、入所者の就職先も乏しいとのことでした。

和衷会は9階建てのビルで収容定員は国内最大の110人です。殺人などの重い罪を犯した人も受け入れるそうです。北海道から鹿児島まで24カ所の施設に断られて来た人もかつておられたそうです。

個室と二人部屋がありましたが、今は二人で入る必要がないほど収容者は少ないそうです。読書室やゲーム室もありましたが、最近はスマホがあるのでみなここで集うことがなくなり部屋に入っていることが多くなっているそうです。消灯は22時で通電しなくなるそうで、当然灯りもつかなくなり寝るしかないということでした。こういう施設では、更生保護女性会が食事を作るなどのボランティアもされているそうです。

ここでも近隣のボランティアに支えられているなど強く感じました。そういう支えが行き場のない人たちの心を少しずつほぐしていくのではないかと思います。

更生保護の必要性を強く感じた研修でした。



## 更生保護制度施行75周年を迎えました！

令和6年度は更生保護制度施行75周年を記念し、令和6年10月2日に東京国際フォーラムで更生保護制度施行75周年記念全国大会が開催されました。吹田地区からは1名が出席しました。

また、10月31日に更生保護制度施行75周年記念大阪大会が堺市民芸術文化ホールで開催されました。吹田地区からは23名の方が、法務大臣表彰や家族表彰等、それぞれ受賞されました。誠にありがとうございます。



## 令和6年度総会及び懇親会を開催しました！



令和6年度吹田地区保護司会の総会及び懇親会が、令和6年5月14日に開催されました。

令和2～5年度までは、新型コロナウイルスの影響もあり、懇親会は中止となっていたため、総会懇親会としては、令和元年度以来の開催となりました。

名誉保護司や大阪保護観察所長等、関係の方々をお招きし、親睦を深めることができました。

## 更生保護サポートセンター吹田

更生保護サポートセンター吹田では、企画調整保護司が常駐し、保護観察対象者との面談のほか、保護司会の各種会議や、更生保護に携わる各団体の会議等に活用されています。

また地域の皆様が、犯罪や非行等について相談できるように相談体制を整えています。

地域での犯罪や非行に関する相談、更生保護に関する問い合わせ等、お気軽にご連絡ください。



### アクセス



### 開所時間

月曜日～金曜日（土・日・祝・年末年始は除く）

午前10時～午後4時

※ 保護司業務に関する研修等で臨時に休所する場合があります。相談等で来所される場合は、事前に電話予約をお願いします。

〒565-0862

吹田市津雲台1丁目2番1号 千里ニュータウンプラザ5階

TEL 06-6836-7311 FAX 06-6836-7391

## 令和6年吹田地区保護司会 事業報告

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

### 1 月

- 1 日 保護司会報吹田第46号発行
- 11 日 第3回地区保護司会代表者会議(会長出席)  
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 15 日 総務部会
- 18 日 新年例会
- 23 日 退任保護司に対する法務大臣感謝状伝達式
- 25 日 「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会役員会

### 2 月

- 15 日 理事会・例会・研修会  
総務部会
- 21 日 「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会全体会

### 3 月

- 6 日 総務部会
- 14 日 3月総会
- 18 日 第4回地区保護司会代表者会議(会長出席)  
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)

### 4 月

- 17 日 理事会・例会・研修会  
各部会
- 20 日 吹田BBS会総会
- 25 日 吹田地区更生保護女性会総会
- 30 日 総務部会  
理事会

### 5 月

- 9 日 第1回地区保護司会代表者会議(会長出席)  
大阪府保護司会連合会理事会(会長出席)
- 14 日 令和6年度総会
- 21 日 防犯協議会定例総会(会長出席)
- 30 日 吹田市子ども・若者支援地域協議会代表者会議(副会長出席)

### 6 月

- 5 日 春季研修(児童自立支援施設 明石学園ほか)
- 16 日 吹田青年会議所創立55周年記念式典(会長出席)
- 21 日 北摂ブロック保護司会会長会議(役員出席)

### 7 月

- 6 日 「社会を明るくする運動」市民集会  
※各ブロックで「社会を明るくする運動」地域集会を開催
- 14 日 第34回「少年を守る」南千里市民大会(会長出席)
- 19 日 関西大学連携授業「吹田と関西大学」にて講義を実施(副会長出席)

### 8 月

- 21 日 理事会・例会・研修会  
研修部会

### 9 月

- 5 日 吹田市子ども・若者支援地域協議会実務者会議(広報部長出席)
- 12 日 第2回地区保護司会代表者会議(会長出席)  
大阪府保護司会連合会理事会、常任理事会(会長出席)
- 17 日 吹田地区保護司推薦委員会  
理事会・例会・研修会  
組織部会

### 10 月

- 9 日 北摂ブロック保護司会会長会議(役員出席)
- 11 日 吹田地区更生保護女性会秋季バザー
- 15 日 秋季研修(更生保護法人 和衷会ほか)
- 16 日 ブロック長会議
- 24 日 北摂ブロック合同親睦ゴルフ大会
- 25 日 広報部会
- 31 日 更生保護制度施行75周年記念大阪大会

### 11 月

- 7 日 大阪更生保護女性連盟結成65周年記念大会
- 19 日 近畿地方保護司代表者協議会(会長出席)
- 20 日 理事会・例会・研修会  
研修部会・組織部会
- 22 日 広報部会

### 12 月

- 5 日 広報部会
- 17 日 北摂ブロック保護司会会長会議(役員出席)
- 18 日 理事会・例会・研修会  
組織部会

## 編集後記

～編集作業を終えて～

漢字、ひらがな、カタカナetc、日本語は豊かな表現力を持つ言語です。それゆえ、「思い」を文字で伝える難しさはひとときわです。今回、会報誌に「思い」を寄せてくださった皆さまに感謝申し上げます。皆さまの「思い」が会報誌を手にとられた方々に、どうぞ伝わりますように。